



サステナビリティセンター
Center for Sustainable Society

南三陸の「いのちめぐるまちづくり」

一般社団法人サステナビリティセンター 代表理事
東北大学生命科学研究科 客員教授

太 齋 彰 浩

自己紹介

太齋 彰浩 (ダザイ アキヒロ)
サステナビリティセンター 代表理事
南三陸町在住

経歴：研究者→移住→役場職員→起業
(震災前・震災後)

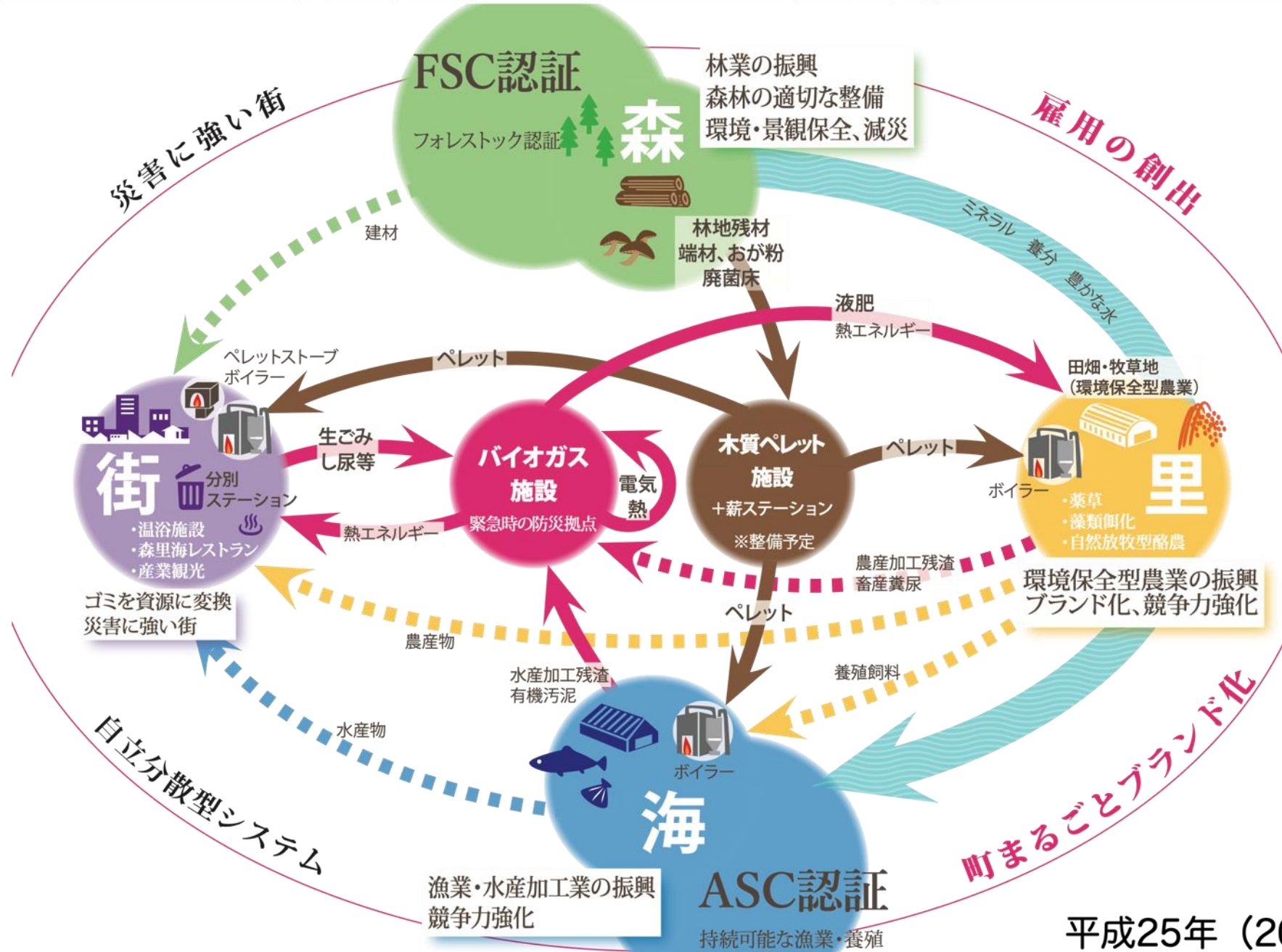
仕事：海洋生物・環境調査 (研究)
人事育成研修講師
合意形成ファシリテーター
トランスレーター (行政・企業・研究者)
プロダイバー
いのちめぐるまちづくり





南三陸・海のビジターセンターの運営

南三陸町バイオマス産業都市構想



平成25年 (2013年) 12月策定





震災前の志津川湾



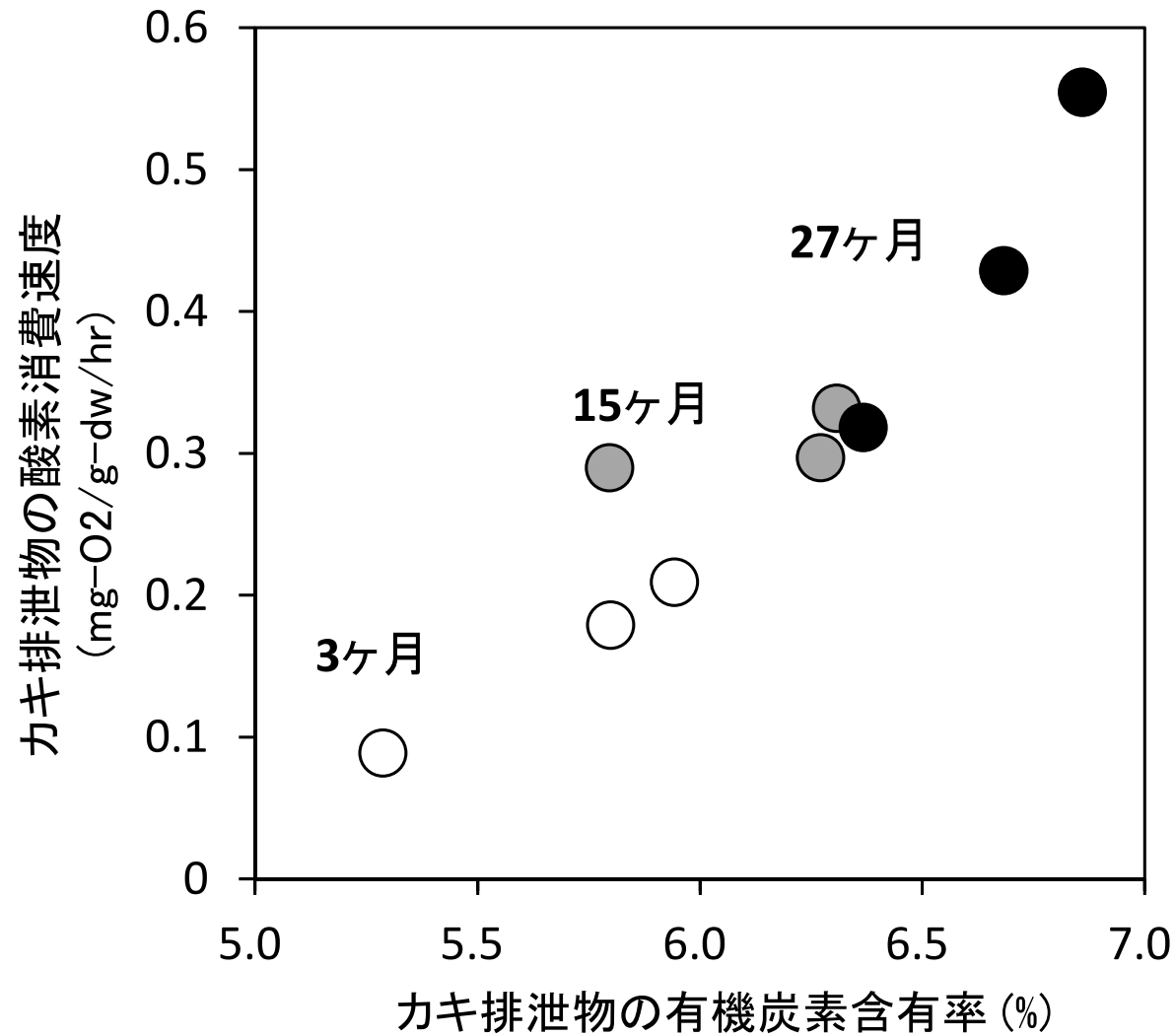
1 / 3 の革命



1 / 3 の革命

戸倉地区のカキ 養殖業

	H22	H29	増減
1経営体当たり 生産量 (kg)	1,790	3,545	2倍 ↑
1経営体当たり 生産金額 (千円)	3,380	5,009	1.5倍 ↑
経費 (千円)	2,300	1,330	4割 ↓
労働時間 (時間 / 日)	10	6	4割 ↓



図(3)2-26 月齢の異なるカキ排泄の有機炭素含有率と酸素消費速度の関係 (2014年11月メソコズム実験結果)

○国内初のASC認証取得

法令遵守 → 適正密度の維持

労働環境改善 → 定休日（働き方改革）

ブランドイメージ → 他の水産物に引き合い

1 / 3 革命 + ASC認証





→ 子ども達に誇れる漁業

→ 20代の後継者が増加！！

< 令和元年度天皇杯受賞 >

地域におけるシナジー事例

● カキ養殖の1 / 3 革命

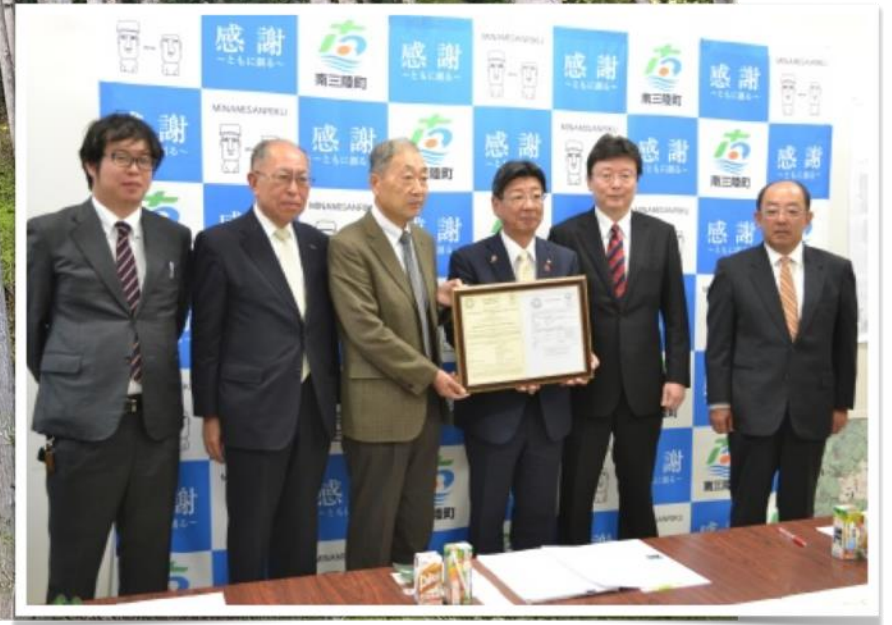
<p>8 働きがいも 経済成長も</p> 	<p>労働時間の削減と収益の向上 後継者の増加</p>
<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 	<p>出荷ロス of 劇的な削減</p>
<p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> 	<p>養殖施設削減による資源・エネルギーの負荷低減</p>
<p>14 海の豊かさを 守ろう</p> 	<p>1年もの主体の出荷による底質への負荷低減</p>



放置された森林が引き起こすこと

- ◆ 河川の流量低下・不安定化
- ◆ 大雨での土壌流出
- ◆ 災害の危険性
- ◆ 単調な生態系
- ◆ 資源の死蔵化

下層植生が豊かな南三陸杉の森
県内初のFSC®認証取得



2015年10月取得





- ・ 地域内での木材活用（地産地消）
役場庁舎、生涯学習センターなど



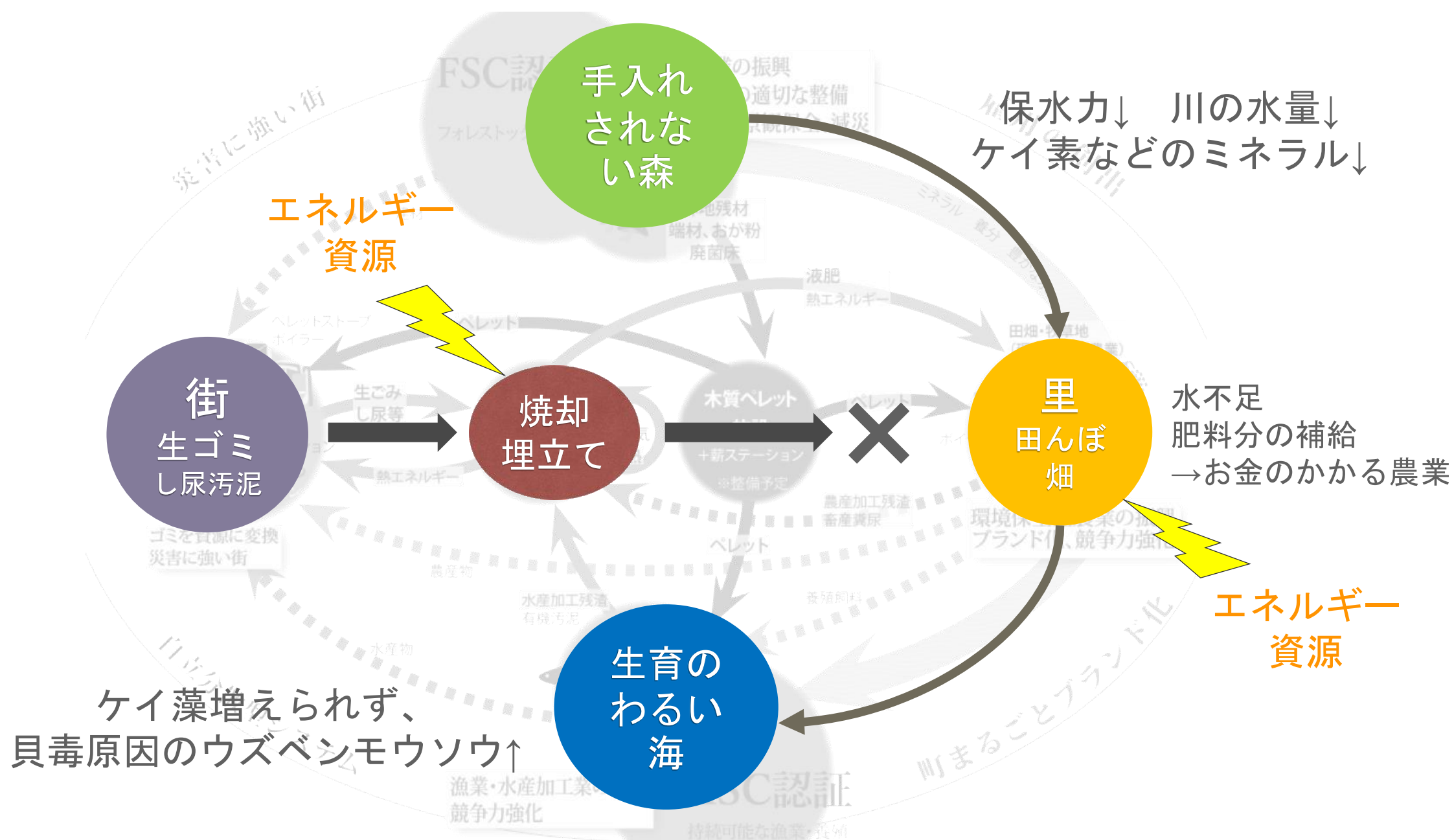
- ・ 町産材のブランディング
- ・ **FSC**林業を通じた
「地域のブランディング」

地域におけるシナジー事例

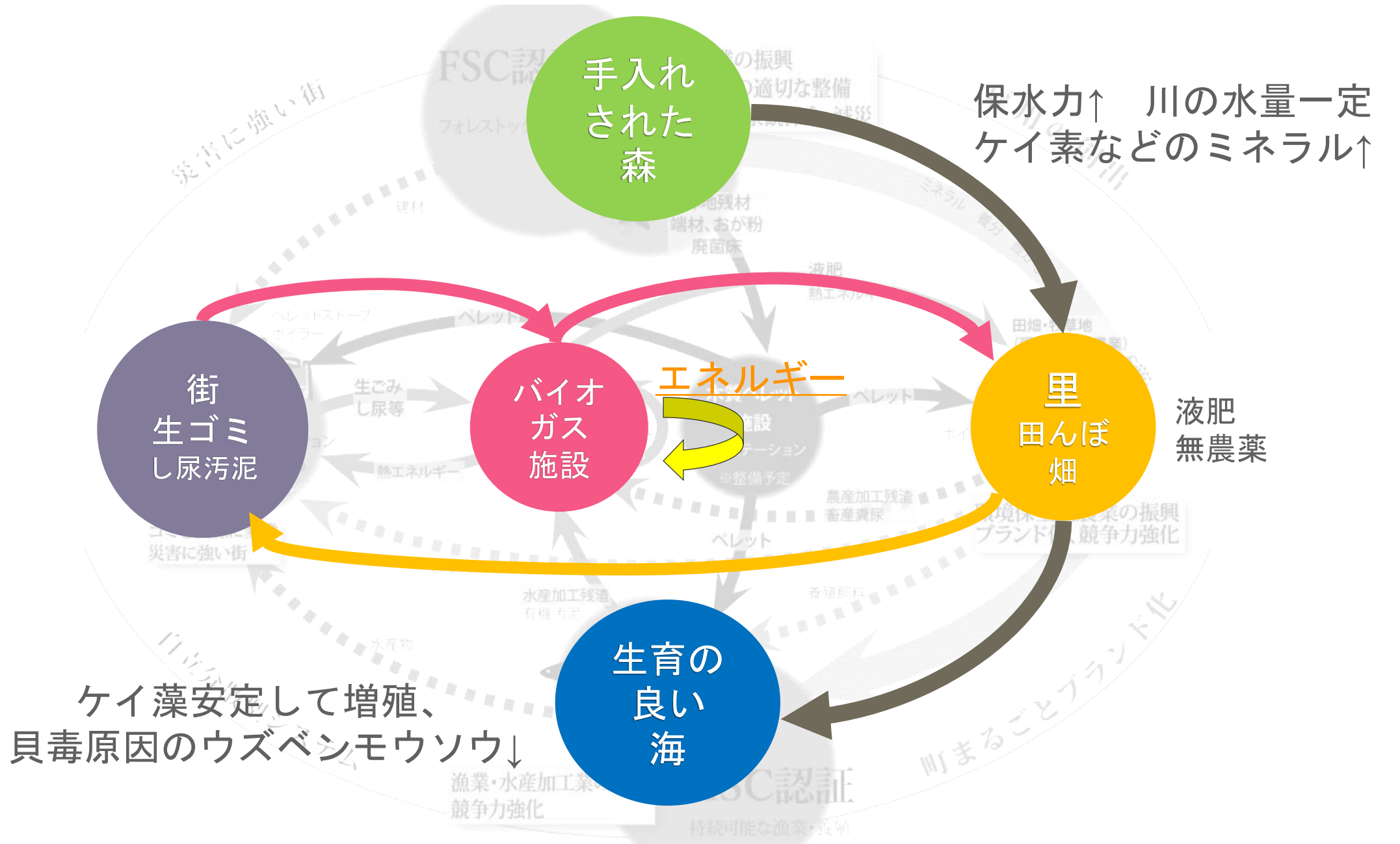
●南三陸森林管理協議会のFSC認証取得

<p>8 働きがいも 経済成長も</p> 	<p>環境に配慮した森林管理による持続可能性の向上と ブランド価値向上、誇りある職場へ</p>
<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 	<p>適切な生産管理、トレーサビリティの担保 (違法木材でないことの証明)</p>
<p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> 	<p>森林のCO₂吸収作用と災害防止の両立</p>
<p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> 	<p>林床にも光が入り、下草を残す施業により多様性向上</p>

以前の南三陸（これまでの日本）



南三陸の挑戦（これからの日本のモデルをつくる！）















地域におけるシナジー事例

● 生ゴミ循環の仕組み

<p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p> 	<p>生ゴミ循環システムの垂直立ち上げによる地域内循環の確立</p>
<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 	<p>生ゴミ資源化・可燃ゴミ減容化</p>
<p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> 	<p>可燃ゴミの削減、肥料の域内生産・流通によるCO₂削減</p>
<p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> 	<p>遊休農地化抑制による水田環境保全</p>

「いのちめぐるまちづくり」を

学びのプログラムとして編集・提供

- 早稲田実業学校初等部 親子フィールドワーク
- 慶應志木高等学校 研修旅行
- アクティブラーニングプログラム（南三陸町観光協会）
- MS&ADグループ グリーンアースプロジェクト
- ブルーフラッグ環境教育業務委託（講座&ビーチクリーン）
- サステイナビリティ学講座



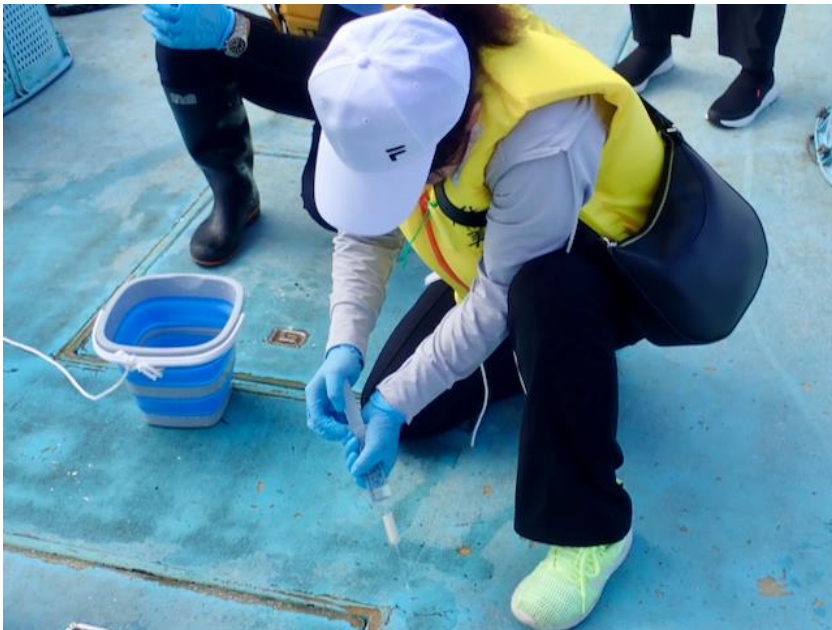




MS&AD Green Earth Project HPより



東日本大震災から復活のみられない場所でアマモ場再生



MD&ADグループ社員によるアマモ場での環境DNA調査

- ・ 南三陸町
- ・ 宮城県漁業協同組合志津川支所
- ・ MD&ADインシュアランスグループホールディングス(株)
- ・ 鹿島建設(株)
- ・ サステイナビリティセンター

2024年3月、志津川湾ブルーカーボン協議会を設立

南三陸いのちめぐるまち学会

「めぐるがみえる」を追求することで
持続可能な社会づくりに貢献する

<https://inochi-meguru.net/>

第3回
2024 南三陸
いのちめぐる
まち学会

おどる交流軸 ・ はねる時間軸

11/9
(土)

会場：南三陸町スポーツ交流村
(ベイサイドアリーナ)
宮城県本吉郡南三陸町沼田 56

■定員 200 名

参加費

個人会員：2,000 円
非会員：5,000 円
小中高生：参加費無料 (保護者を含む)

事前申込み制
締切 10/10



学会大会

9:30-17:30 開場 9:30-

